



2020～21年度  
国際ロータリー会長  
ホルガー・クナーク

# Weekly Report Niigata



2020～21 年度  
新潟ロータリークラブ会長

高橋 秀松



国際ロータリー

2020～21 年度テーマ

ロータリーは機会の扉を開く

新潟 RC 6 月第 1 例会 (2021.6.1) (Zoom・書面例会併催) No.3367

## (1) 「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」ピアノ演奏

## (2) 高橋 秀松会長挨拶

6 月に入りました、私は梅雨入り前のこの時期が一番好きです。あらゆる植物が青々と茂り、雑草も含めた花々が開花しています。一年のうちで最も、生命力のあふれた活動的なシーズンではないかと思えます。今年はコロナ禍のためなかなか思うように活動ができない状況ですが、皆さんにおかれましては充分お気をつけの上、前向きに元気でお過ごしを頂きますようお願いいたします。

80 周年記念事業として寄贈させていただいた「いのちの電話」及川紀久雄理事長より、礼状が届いておりましたのでご報告をします。

さて、ロータリーには 2 つの標語があります。一つは「Service above self 超我の奉仕」です。これは他人のために役立つという社会奉仕や、国際奉仕に関する理念で第一標語となりました。もう一つは、第二標語「He profits most who serves best 最もよく奉仕するもの最もよく報われる」これはシェルドンが言った言葉ですが、科学的かつ道徳的な経営方針によって自分の事業や同業者の事業の発展を図ると共に業界全体のモラルを高めていこうというという標語です。

本日は第一標語の超我の奉仕の誕生について調べてきましたので、お話をします。

「超我の奉仕 Service above self」超我なんとなくカッコがよく聞こえますが、辞書にも出てきませんし、意味がよく解りません。これは先人日本のロータリアンが作った造語です。日本のロータリーの元祖、米山梅吉は「Service above self」を「サービス第一 自己第二」とか「自己に先立つサービス」とも訳しています。

この「Service above self」の原型となった言葉が、1911 年第 2 回全米ロータリークラブ連合会の年次総会エクスカーションで、ミネアポリスロータリークラブ会長のベンジャミン・フランクコリンズが、スピーチの中での語った言葉「Service not self」でした。このスピーチの内容を読み解きますと、当時会員同士に限定されていた相互取引を、ロータリアン以外にも広げていくという発想でした。つまり「自分一人で商取引を独占するのではなく、他の人たちにも分け与える必要がある」という意味です。シェルドンの

職業奉仕に極めて近い言葉でした。

「Service not self」は現在の我々から見れば商習慣上、極めて当たり前の標語であったにも関わらず、これを宗教的また人類愛に基づいた高次元の標語と誤解した人たちが、「Service not self」を自己犠牲に基づく他人への奉仕とか、無私の奉仕という間違った解釈をしたようです。間違いがまた間違いを呼んで、自己犠牲の奉仕よりは、自己の存在を認めたくて、他人のために奉仕をするべきと、に変更されました。それが現在、我々が慣れ親しんでいる「Service above self 超我の奉仕」となった訳です。

色々な変遷の中で、もともと職業奉仕に近かった、標語が社会奉仕 国際奉仕に関する標語として変化していったようです。一方第 2 標語の「He profits most who serves best」も He から They そして One と変わり現在では「One profits most who serves best」と変わってきています。付け加えますと私は調べるにあたり、直接原文を読んだわけではありません、日本語に訳した文章を参考にしたわけですので、訳した人によって解釈が違うところもあります。このような見方もあることをお含みおきください。いずれにしろ、「Service above self 超我の奉仕」は利己的でないボランティア奉仕の哲学を最もよく表していることで第一標語として、「He profits most who serves best」が第二標語として 1950 年のデトロイト大会で採択されました。以降この二つの標語「超我の奉仕 Service above self」「最もよく奉仕するもの 最も多く報われる One profits most who serves best」が定着し、文献や、あらゆる場所で頻繁に使われるようになったようです。

今日は、ロータリーの標語の話をお話をさせて頂きました。

- (3) 米山奨学生挨拶・奨学金贈呈  
リュウ・リキンさん(カウンセラー 佐藤隆夫君)
- (4) 100%出席バッチの贈呈(東海幸一委員)  
東海 幸一君 1年
- (5) 誕生日お祝い贈呈(9名)
- (6) 結婚記念日お祝いの紹介(7名)

## (7) 仙石青少年奉仕委員長報告

青少年育成基金贈呈先について本日の理事会におきまして、下記のように決定致しました。

### (1) 申請一覧

- ①「NPO 法人 子ども・人権ネット・CAP・にいがた」
- ②「一般財団法人 新潟市母子福祉連合会」
- ③「にいがたお米プロジェクト」
- ④「実家の茶の間」
- ⑤「特定非営利活動法人 フードバンクにいがた」
- ⑥「特例子会社 株式会社 NSG ソシアルサポート」

### (2) 評価ポイント:

- ①「NPO 法人 子ども・人権ネット・CAP・にいがた」: 全ての子どもたちが暴力や虐待にあわず、人権が保障されるための活動をしている。2013-2014 年、山本会長の時に贈呈しているが、30 年間で子供への人権問題が 100 倍にもなっている現実を考える意味でも、再度贈呈候補とした。
- ②「一般財団法人 新潟市母子福祉連合会」: ひとり親家庭が抱える課題を解決し、親子が明るい生活を送れるための相談・支援をしている団体で、ひとり親家庭の親子の絆を深める活動に取り組むとともに、困難な家庭環境にある子どもたちの健全育成に寄与している。
- ③「にいがたお米プロジェクト」: 中央区、東区、西区のいずれかにお住いの児童扶養手当を受給している 140 世帯に、1 年間、毎月無料でお米をお届けする活動を行うボランティア団体。お米以外にも寄付された食料品の配付も随時行っている。
- ④「実家の茶の間」: 地域包括ケア推進モデルハウス「実家の茶の間・紫竹」を開設。こどもからお年寄りまで、市民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちの実現を目指し、支え合いのしくみづくりを進めるための拠点として運営している。子供たちの参加も多く、子どもたちの健全育成と地域に貢献している。
- ⑤「特定非営利活動法人 フードバンクにいがた」: 企業や市民から安全に食べられる食品の寄付を受け、生活困窮者や子ども食堂などに無償で提供する活動を行っており、生活に困窮している世帯の子どもたちの健全育成に寄与している。
- ⑥「特例子会社 株式会社 NSG ソシアルサポート」: 障がい(身体、精神)をお持ちの方で、一般の企業勤務や在宅就労を希望する人々(コロナ禍で増加)で、18 歳以上の多くの青年男女も含めて支援をしている(就労なので少年は除く)。新潟公共職業安定所から、令和 2 年 3 月に新潟市内で初めての特例子会社として認定され、障がいのある方の雇用促進及び障がい者テレワーク支援の活動を行い、組織として会社となっているが障がい者支援の社会への貢献が大きい。

## (8) 各種ご寄付の発表

青少年育成基金寄付発表(武田 眞二委員)

本多 晃君 武田 眞二君

## (9) ニコニコボックス紹介(小飯田 澄雄委員長)

- ・金井 和義君 今年のサラリーマン川柳のベスト 10 が決定しました。よろしくお願ひ致します。コロナ禍で苦勞の多いサラリーマンの句が多く選ばれました。
- ・敦井 栄一君 良い事がありました。ありがとうございます。
- ・宮島多佳子君 お誕生日祝いのワインをありがとうございます。
- ・酒井 昌彦君 お誕生日祝いのワインをありがとうございます。
- ・石橋正利君 結婚記念のお花ありがとうございます。42 回目を家内と仲良くむかえることができました。ニコニコします。

## (10) 表彰

- ・2019-20 年度 ガバナー賞新会員4名増強 山田隆一君
- ・2019-20 年度 ガバナー賞 新会員3名増強 小田等君

## (11) 幹事報告(佐藤 邦栄)

・今後の例会の持ち方について本日の理事会で決定しました。6月8日第2例会より29日第5例会迄お食事の提供があるオンライン・書面例会併催で開催致します。29日の納会は夜ではなくお昼の時間帯で開催致します。27日チャリティーゴルフコンペの後に予定しておりました懇親会は開催せず、ゴルフコンペのみを行います。

## (12) 6月1日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
87	85	61	71.77

Zoom参加者 7名

～\*～ いのちの電話様からのお礼状披露～\*～  
青葉の候 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。新潟ロータリークラブ様におかれましては創立八十周年を迎えられましたこと、誠にありがとうございます。その記念事業として多額のご寄付をいただき、厚く感謝申し上げます。新潟いのちの電話は昭和五十九年四月開局以来、地域に定着した市民による相談事業として活動を続け、三十八年目を迎えることができました。最近はこのコロナ禍で深刻な相談が多くなっております。深い悩みや孤独の中にある人が、「いつでも」「だれでも」「どこからでも」相談できる場としてこれからも社会的な役割を果たしたいと願っております。いただきましたご寄付につきましては、相談事業の中で有意義に使わせていただく所存です。ご支援に感謝しますとともに、今後ともご指導を賜りますよう心からお願い致します。末筆ではございますが、皆様のご活躍、ご健康を心からお祈り申し上げます。

## 6月1日 理事会報告 出席者 10名

- 1 退会届について = 承認
  - ・(株)塚田牛乳 会長 塚田 正幸君 (6月30日付)
  - ・(株)TOSYS 常務取締役 東方 幸雄君 (6月18日付)
  - ・東日本旅客鉄道(株) 新潟支社長 阿部 亮君 (6月8日付)
- 2 入会推薦の件 = 承認
  - ・大和ハウス工業(株)新潟支社 支社長 深澤 康志君  
(推薦者 田中堅一郎君、山中 善紀君)
- 3 6月の例会の持ち方について = 承認  
6月第二例会から、昼食の提供を再開することとし、29日の納会夜例会は、食事付きの納会昼例会に変更する。また、ハイブリットは継続する。
- 4 青少年育成基金贈呈先について = 承認  
仙谷委員長より、別紙の通り6団体へ贈呈することが決定したとの説明があった。また、支給金額について、基金残高が48万円程度であり、一団体当たりの金額が少なくなることから、予備費を利用し、一団体当たり一律20万円寄贈することとした。
- 5 6月のプログラム=承認
  - 6月1日 卓話なし
  - 6月8日 卓話なし  
例会終了後 現理事と次年度委員長クラブ協議会
  - 6月15日 会員スピーチ(オンラインで)  
新潟医療福祉大学学長 西澤 正豊君
  - 6月22日 会員スピーチ「ロータリーあれこれ」  
小山 楯夫情報委員長
  - 6月29日 納会例会 昼例会

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>